

なんでもない日を、ちょっと特別に

「ありがとう」が行き交う職場へ — サンキューカードのすすめ

皆さんは「サンキューカード」をご存じですか？

サンキューカードとは、社員同士が感謝の気持ちをメッセージカードにして伝え合う仕組みです。ちょっとした手助けや気遣いに対して「ありがとう」を言葉にすることで、職場の雰囲気が明るくなり、信頼関係も自然と深まっていきます。

実はこのサンキューカード、名作『ポリアンナ物語』に登場する「良かった探し（Glad Game）」に通じるところがあります。「良かった探し」とは、どんな状況の中にも必ず“何か良いこと”を見つけようとする前向きな姿勢のこと。つらい出来事の中にも、小さな「うれしい」や「感謝できること」があるはず——ポリアンナのその考え方は、多くの人に元気と希望を与えてきました。

サンキューカードもまた、「当たり前」の日常から感謝の種を見つけ、それを言葉にして相手に伝えるという点で、まさに“良かった探し”の実践です。

実際、私も上司からサンキューカードをいただいたことがあります。まったく予想していなかったのが驚きましたが、それと同時に、「自分のことをちゃんと見ていてくれるんだな」と感じて、とても嬉しかったのを覚えています。たった一枚のカードでも、心に残る温かい経験になりました。

前向きな視点は、職場の空気をやわらかくし、人間関係を良好に保つ力になります。誰かを褒めたり、感謝を伝えたりするのは、最初は少し照れくさいかもしれませんが、でも、そんなさりげない一言が、誰かの心を明るく照らすこともあるのです。

ポリアンナが教えてくれたように、私たちも「良かった」を見つける習慣を大切にしながら、職場に感謝の文化を広げていきませんか？



よろしく
お願いします♪



管理課 石井